

受賞技術	後方回転・自走式手延機解体装置
技術開発者	村上 修司
	
<p style="text-align: center;">受賞にあたって</p>	
<p>この度は、数多くの技術の中から、栄誉ある国土技術開発賞 優秀賞を賜り、誠に光栄に存じます。本装置は、「希少生物保護の観点から、上部工施工時に仮栈橋を設置しない」という課題に取り組むため、撤去と運搬を一つの装置で行えるように開発しました。</p> <p>建設業における墜落災害防止のための効果的な設備的対策として、手延機をブロックで解体することとし、作業員の墜落リスクを大幅に低減することが可能となっています。今後も本装置を活用することで、橋梁工事における安全性向上に寄与することが期待されます。</p> <p>最後に、新しい手延機撤去システムの採用および工事全般に渡りご指導いただきました愛知県一宮建設事務所の皆様、装置の実証実験を実施して下さった弊社大阪工場の皆様、工事期間中、無事故無災害で作業を完了して下さった職員・職人の皆様に、心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。</p>	
<p style="text-align: center;">受賞後の動き</p>	
<p>本装置の導入により、送出し架設工法における新たな手延機撤去・運搬方法の開発により、移動式クレーンが設置できない現場でも効率的かつ安全に作業を行うことが可能となりました。本装置は、現道上のみを作業ヤードとして施工することも可能であるため、今後は、旧橋撤去などの別の使い方について適用範囲の拡大を検討していきたいと考えています。</p>	